

令和3年3月25日

小金井市公共施設個別施設計画（案）に対する意見及び検討結果について（案）

意見募集期間：令和3年2月4日から3月3日まで

意見提出数：1人・1件

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
1	全般	<p>（タイトル）財政難・右肩下がり、学校改修の資金不足の環境で、全ての公共施設を守るのではなく優先順位と代替集会所を市民協業で。</p> <p>学校施設の改修に膨大な金額がかかる中、公共施設に中でも守るモノ・あきらめるモノがあって良いと思います。公民館児童館や防災系は守るべきモノですが、各地の集会所はどうなのでしょう。延べ人数ではなく利用している人が、地域のごく一部の人たちに限られひろく利用されていないということはないでしょうか。無料で場所貸しをしてもらえる・・・という役割は、余裕がある自治体ならともかく、その資金は学校の改修にまわすべきではないでしょうか。また貸館事業しかしていないと言うことは費用対効果から見ても地域づくりへの貢献度は低いと言わざるを得ません</p> <p>また、全て市の持ち物の建物でなければならないという場所づくりの発想は時代遅れで、市のコーディネートで、自治会の集会所・空き家・空きアパートなど民有の建物をうまく地域の居場所づくりに転用する道を探るべきではな</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>本計画（案）は、「1.2.2 計画の考え方」（P.5）のとおり、現状の公共施設を維持していくことを前提とした場合の長寿命化等の時期とコストを示したものであり、財源の確保は大きな課題と捉えております。改修・改築を検討するに当たっては、「5.2 今後の公共施設のあり方」（P.58）のとおり、現在保有している量をそのまま維持することを前提とするのではなく、各施設について、公共サービス提供の要否や利用状況、民間活力導入可能性等、施設のあり方を見直すものとしています。</p> <p>いただきました御意見については、今後施設のあり方を検討する上で、参考とさせていただきます。</p>

	<p>いかと思います。高齢者のサービスなども日中はイベントを行うなどして居場所づくりをしており、市民の居場所は、様々な可能性があります。自治会の集会所の改修費用を出す代わりに地域に公開し、人を集めるアイデアを募集したり、空き家の保証人に市がなって、地域の居場所づくりや運営の公募を行う等、市民協業を進めるべきです。</p> <p>昭和時代の延長のやり方では、いつまでたっても地域づくりや弱体化した地域の再生はできません。従来のやりの方が楽かもしれませんが未来のために、行政と市民の協業を今から始め 2025 年以降の右肩下がりの時代に備えるべきです。</p> <p>また利用者をしっかり調査して、市民の何パーセントが利用しているか、延べではなく、利用したことがある市民が全体の何%いるのか調査も行い、公益性を改めて判断した上で取捨選択することを進言します。</p> <p>以上</p>	
--	--	--

※提出された意見は、原則として全文を掲載します。